

公安委員会定例会議の開催概要

開催日時 令和元年7月30日（火） 14時00分～15時50分

1 議題事項

なし

2 報告事項

(1) 令和元年6月中の苦情取扱状況及び感謝事例の紹介について

県警察から、6月中の苦情取扱状況及び感謝事例の報告があった。

委員から苦情について、「警察官の行動は常に県民から見られていることを意識し、緊張感をもって職務に当たるよう指導していただきたい」旨の発言があった。また、感謝事例について、「相談者の個人情報保護にも配慮して丁寧に対応した結果が感謝につながっているので、今後も丁寧な職務執行に励んでいただきたい」旨の発言があった。

(2) 令和元年上半期の交通事故発生状況及び過去5年間の下半期の特徴について

県警察から、「本年上半期の交通事故発生件数は、前年同期比でマイナス52件、負傷者数はマイナス111人とそれぞれ減少し、死者数の増減はなかった。死亡事故の特徴として、自動車乗車中死者13人中シートベルト非着用者は9人で前年同期比プラス5人で69.2%を占め、そのうちの後部座席での死亡者は2人だった。過去5年間の下半期の特徴としては、9月から12月にかけて夜間の交通事故が増加する傾向があり、夜間の死亡・重傷者数のうち歩行者が約半数を占め、そのうちの約7割が高齢者である。下半期は、日没が早くなるほか、交通量の多い時間帯に高齢者が犠牲になる事故が増えることから、こうした点に重点を絞りながら対策を実施する」旨の報告があった。

委員から、「後部座席のシートベルト着用を促す活動や反射材を付けてもらう活動など取組の継続をお願いする」旨の発言があった。

以上